

第37回全日本小学生男子ソフトボール大会要項

- | | | | |
|----|--------|---|---|
| 1 | 主 | 催 | 公益財団法人 日本ソフトボール協会 |
| 2 | 共 | 催 | 福島市、福島市教育委員会 |
| 3 | 後 | 援 | 福島県、(公財)福島県スポーツ協会、福島市体育協会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島 |
| 4 | 主 | 管 | 福島県ソフトボール協会、福島県県北ソフトボール協会 |
| 5 | 協 | 賛 | 名鉄観光サービス株式会社 |
| 6 | 会 | 期 | 令和5年7月29日(土)～8月1日(火)(予備日:8月2日(水)) |
| 7 | 会 | 場 | 〒960-0251 福島市大笹生字俎板山1-7
福島市十六沼公園スポーツ広場 Tel024-558-6151 |
| 8 | 参加チーム数 | | 48チーム |
| 9 | 参加資格 | | (イ)令和5年度公益財団法人日本ソフトボール協会に各支部を通して加盟登録した小学生男子チームに限る。
(ロ)所属長が身体、人物共に適当と認めたもの。 |
| 10 | 出場資格 | | (イ)本大会に出場するチーム及び選手は、所定の予選または、推薦を経て出場権を得たチーム及び選手に限る。
(ロ)選手の編成は、最終予選終了時までに公益財団法人日本ソフトボール協会に登録した者の中から編成すること。なお、本大会参加申込み以後のメンバー変更は認めない。
(ハ)チームの編成は、次の通りとする。
引率責任者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、トレーナー1名、選手25名以内。
※常時3名の女子選手の出場を認める。常時3名とは、攻撃時、守備時において出場している女子選手数が3名のことをいい、選手交代(OP0を含む)をした場合においても女子選手の出場数は3名を超えない。打順表にはDP、FPを含め女子選手の記載は最大3名とする。
※スコアラーとしてベンチ入りする場合は、公式記録員の有資格者であること
※トレーナーは選手の健康管理ができる者とする。
※監督・コーチの中で次の①～③のいずれかの資格を有する者がいること。
監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得る者)がいなければならない。
※指導者資格保持者は試合中、ベンチ内にいなければならない。
※試合開始前に本人確認を行うため、指導者登録証と身分証明書を携帯すること。
①公認コーチ1～4
(旧資格名:公認ソフトボール指導員・上級指導員・公認ソフトボールコーチ・ソフトボール上級コーチ)
②ソフトボールスタートコーチ
③公認準指導員 |
| 11 | 申込み方法 | | 出場資格を得たチームは、別紙関係用紙に必要事項を明記の上、各関係の認印を受け6月19日(月)までに到着するよう下記宛に申し込むこと。

(1) 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square
公益財団法人日本ソフトボール協会 宛
※日本協会へは参加申込書のコピーのみ(押印のある用紙とプログラム掲載用選手名簿)送付。
原本は(2)の送付先に送付すること。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は、所属支部協会に所属支部協会が保存する登録名簿(B表)と参加申込書の照合確認を受け、登録名簿(B表)の写しも同封し送付すること。
ただし、日本協会登録システムでチーム登録を行っているチームについては、登録名簿の送付は不要とする。
※日本協会へ参加申込書を送付する際は、指導者資格登録証のコピーなど資格保有を証する書類 |

のコピーを添付すること。

(2) 〒960-0684 福島県伊達市保原町上保原字流町37-6
福島県北ソフトボール協会 事務局長 鈴木 茂雄 宛 1通
Tel 携帯：090-6220-5622
E-mail：kenpoku_0000@ymail.ne.jp

(参加申込書原本、調査書等は(2)宛送付すること)

- 12 参加料 1チーム 30,000円
※参加料は下記あてチーム名でお振込みをお願いします。
なお、振込手数料はチームにてご負担願います。
東邦銀行本店営業部 普通預金 口座番号：3941690
口座名義 県北ソフトボール協会 事務局長 鈴木茂雄
(ケンポクソフトボールキョウカイ ジムキョクチョウ スズキシゲオ)
※ 参加料振込の写しを、参加申込書と併せて必ず鈴木まで送付して下さい。
- 13 競技規則 2023年度オフィシャルソフトボールルールによる。
- 14 試合球 公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製2号球(ナガセケンコー製)とし、主催者が準備する。
- 15 試合方法 トーナメント方式による。
1回戦～準決勝戦は90分を過ぎて新しいイニングに入らない。制限時間経過後同点の場合は、次イニングよりタイブレークにより試合を続行する。但し、タイブレークは2イニングまでとし、タイブレークで2イニング終了してもなお同点の場合は、抽選により勝敗を決定する。得点差コールドゲームは採用しない。
決勝戦は時間制限を設けず、3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合はコールドゲームとする。
サスペンデッドゲームを採用する。
- 16 表彰 (1) 優勝チームに、表彰状、優勝旗、優勝杯、優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝チームに、表彰状、準優勝杯、準優勝メダルを授与する。
(3) 3位チームに、表彰状、3位メダルを授与する。
(4) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとする。
(5) 個人表彰として最優秀選手1名、優秀選手1名を表彰する。
- 17 費用 出場選手の旅費、滞在費はすべて出場チームの負担とする。
- 18 組合せ抽選 試合の組合せは、7月8日(土)15時より下記会場において、主管者立会いのもとに公開代理抽選によって決定する。
〒960-0251 福島市大笹生字俎板山1-7
福島市十六沼公園スポーツ広場 Tel024-558-6151
- 19 監督会議 7月28日(金)13時より下記会場において開催する。
※監督はユニフォーム着用で出席すること。
福島市トヨタクラウンアリーナ Tel024-539-5500
〒960-8156 福島市仁井田字西下川原41-1
- 20 審判・記録会議 7月28日(金)監督会議終了後、監督会議会場において開催する。
- 21 開会式 7月28日(金)15時より下記会場において開催する。
福島市トヨタクラウンアリーナ Tel024-539-5500
〒960-8156 福島市仁井田字西下川原41-1
- 22 傷害 大会参加者の行事参加中の傷害事故については、応急の処置を行なうと共に、公益財団法人日本ソフトボール協会が加入する行事参加者傷害保険(死亡・後遺障害500万円、入院日額3,500円)の範囲内で補償を行なう。
参加者は全員健康保険証を持参すること。
- 23 その他 (1) 出場チームは必ず監督(引率責任者がいる場合は引率責任者)によって引率され、監督(引率責任者)は選手の全ての行動に対し責任を負うものとする。
(2) 開会式は監督、コーチ、プレーヤー全員が参加すること。9名以上(試合が成立する人数)の参加ができないチームは原則として棄権とみなす。
(3) 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては以下の通りとする。
棄権チームに対する処置：当該年度及び次年度の公式試合の出場停止

※ 組合せ抽選終了後の出場辞退も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による棄権については上記処置は適用しない。棄権チームに対する処置は日本協会倫理委員会で審査し日本協会理事会で決定する。

- (4) 雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中断する。
- (5) 宿泊及び昼食については下記の通り斡旋するので、別紙申込み書により6月23日（金）までに名鉄観光サービス㈱福島支店まで申込むこと。
別紙の 宿泊要項 【宿泊・弁当・交通のご案内】参照
- (6) 宿泊の斡旋を要しないチームも宿泊先及びその所在地、電話番号等を大会事務局へ連絡すること。
- (7) ベンチに入る人数は、本大会登録人数とする。
- (8) 本大会の試合の一部を動画配信することもありますので予めご了承下さい。
- (9) その他詳細については、参加チームに直接連絡すると共に、監督会議で定める。
- (10) 大会参加申込書は手書き又はパソコン等で作成し明確に記入すること。

【本大会の問い合わせ先】

〒969-3532 福島県喜多方市塩川町字経塚1456-3
福島県ソフトボール協会 理事長 大野 正美 TEL090-2362-0256

〒969-3411 福島県会津若松市河東町大田原字高水口1
福島県ソフトボール協会 事務局長 内山 嘉昭 TEL090-1497-2136

〒960-0684 福島県伊達市保原町上保原字流町37-6
県北ソフトボール協会 事務局長 鈴木 茂雄 TEL090-6220-5622
E-mail: kenpoku_0000@ymail.ne.jp